



JAL不当解雇撤回ニュース

No522号 2017.02.05
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekai.com>

年末年始、各地で集会！ 松山、東京大田区、釧路、広島、静岡

年末年始に全国各地で、JAL 争議を支援する集会が開かれ、それぞれ地域の特性を生かした活気ある集会となりました。争議を取り巻く状況が大きく変わり、JAL が追い詰められている中、一日も早く解決するために連帯を強化するとの決意表明がされました。以下に概要を紹介します。(釧路と広島については、すでに別号で紹介)

松山 運動の広がりを実感

12月14日に松山コムズにて、学習報告会が行われ、山口乗員団長講演の「民間航空と戦争法」をテーマにした学習会に95名が参加しました。

現県会議員、市会議員、元市会議員の方々、戦争法に反対する若者グループ「3ピースえひめ」のメンバー、NECST 愛媛勝手連の共同代表の方、伊方原発反対金曜行動の仲間など、これまでにない顔ぶれの方が参加し、解雇されてから6年間の変化と運動の広がりを確認できました。



訴えをする3名の愛媛在住原告

参加した支援者の方からのメッセージ



これまでの闘いをビデオで視聴する参加者

「たたかいあるところ JAL 原告あり」・・・このスタンスを持続しこのたたかいの意義を広めるために、働く人たちの防波堤として、今後ともがんばり続けることを願っています。参加した仲間の皆さんと一層支援を強めてまいります。

「希望と勇気」をありがとうございました！

多くみなさんが仲間を呼び込んでくれた。この力に自信を持ってください！

東京大田区

6年の闘いから、解決への展望が見えた



挨拶をする JAL 大田実行委員会の小林氏

言、3 労組統一要求、職場の人員不足の実態、支援の拡がり等が確認されました。JAL 包囲網を更に強め、早期に解決させるために、連帯して闘い抜く決意を新たにする集会になりました。

羽田空港を抱える大田区では、12 月 16 日、大田区消費者生活センターで、「JAL 争議の到達点と今後のたたかひの展望」を確認する集会が行われました。大田区民の市民団体や労働組合、争議団など会場いっぱい 180 名が参加しました。

不当労働行為事件の最高裁勝利決定、ILO 勧告、国会での大臣発言、

JAL 闘争を支援する静岡集会

2017年1月24日(火) 18時～ 静岡労政会館5階(視聴覚室)



静岡

解雇後の職場実態に深い関心

「JAL闘争を支える静岡の会」沖代表

55 名が参加した集会は、国労静岡地本の塩澤副委員長の司会で進められ、冒頭、主催者を代表して沖氏から挨拶がありました。弁護団長の上条弁護士からは、JAL 解雇事件の経過と今後の課題が話されました。また、客乗原告内田団長と乗員原告和波さんから、「これまでの闘いと昨今の情勢」と「航空業界の現状」などが話されました。解雇後の職場の状況は特に関心が高く、熱心に聞いて下さいました。会場カンパやメッセージも寄せられました。

集会に先立ち、県内の国会議員の地元事務所への要請を行いました。国労の皆さんには休暇を取っていただき同行していただきました。その後、静岡駅前北口地下道に 15 名が集まり宣伝行動も行いました。

「3 労組で統一要求を会社に出したことはとても大きい」と述べる上条弁護士

職場復帰の重要性や疲弊した職場の現状を述べる客乗原告内田団長と乗員原告和波さん

